

令和6年度事業報告

[概況]

令和6年度は、昨年度に引き続き交通安全思想の普及と浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけ「安全で快適な交通社会の実現」に向けて

- 高齢者の交通事故防止
- 歩行者及び自転車の安全確保
- 飲酒運転の根絶
- シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底

の4点を活動重点に掲げて関係機関・団体等と緊密な連携を図りながら、各地区交通安全協会と一体となって事業を推進した。

令和6年中の県内における交通事故発生状況は、発生件数2,671件（前年比－50件）、死者数55人（前年比±0人）、負傷者数3,045人（前年比－51人）となった。

発生件数・負傷者数・重傷者数は前年より減少したが、死者数は同数で、歩行中の事故で亡くなった人が24人（前年比＋2人）で全体の44%を占め増加したほか、飲酒運転による死者が1人（前年比＋1人）となった。

死者の年代別では、65歳以上の高齢者が39人で全死者数の70.9%を占め、平成16年以降21年連続して全死者数に占める高齢者の割合は半数を超えている。

また、高齢運転者の加害事故、歩行中や自転車乗車中の交通事故、若者や高校生、子どもの事故が多く発生していること、依然として飲酒運転による重大事故が発生していること、チャイルドシートの使用や一般道路における後部座席のシートベルトの着用も徹底されているとはいえない状況に有り、多くの課題が残されている。

公益財団法人新潟県交通安全協会の令和6年度の事業実施状況は次のとおりである。

1 公益事業

(1) 交通安全に関する広報啓発事業

本事業は、当協会が民間における交通安全運動の中核組織として、また、新潟県公安委員会から「新潟県交通安全活動推進センター」の指定を受けている立場において、県民の交通ルールの遵守と交通マナーの向上を図り、交通事故のない安全で安心な新潟県の実現に寄与するために実施した。

ア 交通道德の普及啓発と交通安全を図るための広報啓発

県民の交通ルールの遵守と交通マナーの向上を図り、交通事故を防止するための広報啓発事業として、一般県民を対象に以下の各事業を実施した。

事業名	実施の概要
交通安全運動の効果的な推進	関係機関等との連携の下に各地区協会と一体となって下記運動の周知と盛り上げを図った。 (1) 全国運動

	・ 春の全国交通安全運動 4月6日(土)～15日(月) ・ 秋の全国交通安全運動 9月21日(土)～30日(月) (2) 県の運動 ・ 夏の交通事故防止運動 7月22日(月)～31日(水) ・ 高齢者交通事故防止運動 10月1日(火)～31日(木) ・ 冬の交通事故防止運動 12月11日(水)～20日(金) ・ 止まって！横断歩道キャンペーン － 横断歩行者を交通事故から守ろう － 4月1日(月)～令和7年3月31日(月) (3) 県と共催 ・ 高齢者参加型交通安全運動 「いきいきクラブ・チャレンジ100」 9月23日(月)～12月31日(火) (4) その他 ・ 自転車ヘルメット着用促進県民キャンペーン 4月1日(月)～令和7年3月31日(月) ・ 自転車安全月間 5月1日(水)～31日(金) ・ 県民交通安全フェア ～ 交通安全県宣言記念行事 7月16日(火)「新潟テルサ」
交通安全広報の推進	以下のとおり交通安全広報を計画的に実施した。 ○ 「交通安全だより」の発行(4月・9月・1月) 春の全国交通安全運動に合わせて8万8,665部、秋の全国交通安全運動に合わせて8万8,215部、合計17万6,880部の「交通安全だより」を作成したほか、交通安全の啓蒙普及を図るため、昨年に引き続き新潟県知事、新潟県警察本部長及び(公財)新潟県交通安全協会長の新年の挨拶を掲載した「交通安全だより」8万4,085部を各地区交通安全協会等を通じて県下各世帯に配布若しくは回覧した。 ○ 交通安全ポスター、リーフレットの作成配付(7・12月) 県交通安全対策協議会が夏の交通事故防止運動、冬の交通事故防止運動、高齢者交通事故防止運動にあたり作成する、各種交通安全ポスターの作成費用の一部を負担した。 また、交通死亡事故の特徴等を内容とするリーフレット「新潟県の交通事故と安全運転」を更新時講習分も含めて配布した。 更に、高齢者向けリーフレット「高齢歩行者安全な横断の決め手！」を1万7,250部作成し、「いきいきクラブ・チャレンジ100」参加者等に無料配布した。 ○ 交通安全標語、交通安全広報写真の一般募集(4～8月)

交通安全広報の推進

4月から8月にかけて交通安全標語、広報写真の募集を実施、標語865点、広報写真102点の応募があり、審査の結果、優秀作品24点、佳作作品24点について表彰した。

優秀作品については当協会作成に係る「2025年版（令和7年版）・交通安全カレンダー」に登載した。

○ 交通安全カレンダーの作成配布（10月～12月）

標語、広報写真の優秀作品を使用した「2025年版（令和7年版）・交通安全カレンダー」を5,800部作成し、有償であっせんした。（一部無償配布）

○ 飲酒運転追放広報等の推進（12月）

- ・ 12月1日～31日までの間に行われたNIIGATA飲酒運転ゼロプロジェクト2024に参加し、12月6日に街頭啓発活動を行ったほか、12月1日、8日、15日の新潟日報紙面において、飲酒運転根絶の啓発広報を行った。

○ ランドセルカバー等の配付〔2月〕

J A共済連新潟から、小学1年生を対象としたランドセルカバー、「つうがくろ あんぜんMAPキット」1万2,170組の寄贈を受け、19地区交通安全協会を通じて配付した。

○ シートベルト全席着用等のぼり旗等の作成掲出

当会館前及び新潟県運転免許センター（新潟・長岡）前に「シートベルト全席着用」等7種類ののぼり旗を掲出するとともに、各地区交通安全協会に対しても同種ののぼり旗を作成・配布して交通ルールの遵守等と呼びかけた。

○ マスメディアによる運動広報の実施

- ・ 全国交通安全運動時に、朝日、毎日、読売及び新潟日報の各紙に運動周知記事を掲載した。
- ・ 10月1日から11月30日までの間、FMNIIGATA交通安全キャンペーンに参加し、毎週1回ラジオでドライバーに「早めのライトオン」を呼びかけた。
- ・ 3月22日から4月20日に行われた、「信号機のない横断歩道での一時停止」啓発キャンペーンに参加し、信号機のない横断歩道での一時停止率が全国29位である本県の現状とこれからの取り組み、交通ルールに関する間違い探しを掲載し、「横断歩道で一時停止はマナーではなくルールです。」という交通ルールの意識向上を図った。

○ 交通安全イベントへの参加による交通安全広報

8月3日新潟市デッキィ401で行われた交通安全イベントにおいて、クイックアーム、クイックキャッチを利用した俊敏性検査の実施、反射材、広報チラシの配布を行った。

○ 協会HPによる交通安全広報

交通安全広報の推進	協会HPを令和3年4月にリニューアルし、スマホからのアクセスなど利便性を向上させ、交通安全運動の周知、イベント等の広報や飲酒運転追放の呼び掛け等多目的な広報を通年実施した。
自転車の安全利用の促進	自転車の安全利用、事故防止を図るために以下の事業を推進した。 ○ 自転車整備とTSマーク貼付の推進 年3回発行の「交通安全だより」に、自転車の点検整備、ヘルメットの着用、TSマークの貼付等を掲載、また、11月から自転車運転中の「ながらスマホ」、「酒気帯び運転」が厳罰化されたことから「交通安全だより」に掲載し、注意喚起した。 ○ 自転車安全月間における広報の推進（5月中） 月間中、広報車による自転車の安全走行、事故防止広報を計画的に実施した。 ○ 自転車シミュレータの積極的貸出の推進 協会備え付けの自転車シミュレータ4式を各地区交通安全協会、市町村等に貸し出し、より効果的な自転車安全教育の実施を支援した。 なお、県安協、三条市安協、柏崎地区安協及び阿賀野市安協の4か所で保管し、貸し出している。
交通安全教育資器材等整備及び貸出	以下の交通安全教育器材の整備、充実を図るとともに協会HP等により貸出制度等の周知広報を推進して、各地区交通安全協会、市町村、学校、企業、一般に対して利用促進を図った。 ○ チャイルドシート(61台)を延べ302人に貸し出した。 ○ 交通安全教育映画(DVD)を延べ86枚貸し出した。 ○ 俊敏性測定器「クイックアーム、クイックステップ、クイックキャッチ」、酒酔いゴーグル、自転車シミュレーター、自転車安全教室用具一式等を計86回貸し出した。

イ 交通安全のための教育訓練

高齢者、子ども等の交通事故防止と自転車・二輪車の関与する交通事故防止を図るために以下の各事業を実施した。

事業名	実施の概要
自転車交通安全指導員	県と共催の自転車安全教育指導員認定講習会を2回開催し

の育成	た。 5月23日(木) 長岡市南部体育館 19人参加 7月25日(火) 新発田カルチャーセンター 15人参加
交通安全高齢者自転車大会の実施	県、県警と共催の「第3回交通安全高齢者自転車大会」を10月19日(土)新潟市黒埼地区総合体育館において開催、5チーム15人の参加があり、成功裡に終えた。 ○ 団体 優勝 新潟西 2位 新潟北 3位 西蒲 ○ 個人 優勝 新潟北 2位 西蒲 3位 新潟西
二輪車安全運転指導員の育成	二輪車安全運転教育推進体制の充実を図るため、二輪車安全運転指導員養成講習会・資格審査会を10月26日(土)聖籠町運転免許センターにおいて実施した。 ○ 受講者9人、資格審査合格者9人
いきいきクラブ・チャレンジ100の実施	県と共催の高齢者参加型交通安全運動「いきいきクラブ・チャレンジ100」を、3,409チーム(前年比△105チーム)、1万7,045人(前年比△525人)の参加を得て実施した。 参加者の無事故達成率は99.2%(前年99.1%)であった。

ウ 交通関係功労者(団体)並びに優良運転者の表彰

交通安全に功労のあった個人・団体・学校等や、長年無事故・無違反で他の模範である優良運転者、受賞者(団体等)に対して以下の表彰を実施した。

事業名	実施の概要
本部長連名表彰(4月)	○ 優秀運転者表彰 ・ 50年表彰 145人 ・ 40年表彰 167人 ・ 30年表彰 212人 ・ 20年表彰 91人 - 合 計 615人
関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長表彰(5月)	○ 交通安全功労者 … 16人 ○ 優良交通安全協会… (一財)佐渡地区交通安全協会 (一財)見附地区交通安全協会 東蒲原交通安全協会 ○ 優良職員 … 4人

県協会会長表彰（５月）	○ 永年勤続優良職員 ４人
関東管区警察局長・関東交通安全協会連合会長表彰（９月）	○ 優良運転者 … ８人 ○ 交通安全功労団体… （一財）秋葉区交通安全協会山谷町・南町支部他２団体
交通栄誉章緑十字銅章（９月）	○ 交通安全功労者 … ５７人 ○ 優良運転者 … ４５人
本部長連名表彰（９月）	○ 交通安全功労者 … １００人 ○ 交通安全功労団体・優良交通安全協会、支部（一財）秋葉区交通安全協会金津支部谷町分会他４団体 ○ 交通安全優良会社・事業所（株）宮本モータース（魚沼市）他３事業所 ○ 交通安全優良学校 柏崎市立北条小学校（柏崎地区）
交通栄誉章緑十字金章・銀章（１月）	○ 交通栄誉章緑十字金章受賞者 交通安全功労者 … ３人 ○ 交通栄誉章緑十字銀章受賞者 交通安全功労者 … １１人 優良運転者 … １人
全日本交通安全協会会長表彰（１月）	○ 交通安全優良団体（公財）十日町地区交通安全協会水沢支部 ○ 交通安全優良事業所（株）東プロ（新潟西）他１事業所 ○ 優良交通安全協会（一財）五泉市交通安全協会 ○ 優良安全運転管理者協会 与板地区安全運転管理者協会
交通部長連名表彰（３月）	○ 交通安全活動・事故防止活動功労地区安協（公財）柏崎地区交通安全協会他２協会
県協会会長表彰（３月）	○ 交通安全活動・事故防止活動功労地区安協（一財）新潟東交通安全協会他４協会
県協会会長表彰	○ 各季交通安全運動期間中の功労団体・功労者表彰

(随時)	・ 春 (公財) 阿賀野市交通安全協会 (一財) 新発田市交通安全協会 (公財) 南魚沼交通安全協会 ・ 夏 (公財) 燕市交通安全協会 (公財) 十日町地区交通安全協会 ・ 秋 (一財) 妙高地区交通安全協会 (一財) 糸魚川地区交通安全協会 ・ 冬 (公財) 柏崎地区交通安全協会 (一財) 上越交通安全協会
------	---

エ 交通安全教育資料、交通安全用品等の普及促進

県民の交通安全意識の向上と交通事故被害の防止を図るために以下の各事業を実施した。

事業名	実施の概要
交通安全教育資料の 斡旋・無料配布	県民及び交通安全関係団体等に対して交通の教則、交通安全自己診断、自転車の交通安全ブック、交通安全リーフレット及びチラシ、交通安全教育用映画(DVD)等の斡旋、貸出し、無料配布を実施した。
高齢者参加型交通安全運動参加者へ反射シール等の配布	県と共催の「いきいきクラブ・チャレンジ100」参加者全員(1万7,045人)に対して「反射材」と高齢者交通安全リーフレットを無料配布した。
交通安全用品の斡旋	県民交通安全フェア会場に於いて、「反射材」等の交通安全グッズを紹介、販売を実施した。

オ 交通事故相談

事故当事者等が、交通事故に対する適切な対応を可能にするとともに、経済的、精神的負担の軽減を図るために専用相談室を通年開設して以下の各事業を実施した。

事業名	実施の概要
交通事故相談所の開設	安協会館1階専用相談室において執務時間中に「交通事故相談所」を開設して相談の受理にあたったが、期間中の相談はなかった。
交通事故被害者対策の推進	相談内容に応じて「県事故相談所」「にいがた犯罪被害者支援センター」等関係機関・団体との連携を図った。

カ 地区交通安全協会支援事業

地区交通安全協会(30地区)を支援等して、地区交通安全協会活動の活性化を促進するために以下の各事業を実施した。

事業名	実施の概要
交通安全活動事業に関する指導・調整	・ 年間の交通安全協会活動重点の設定 ・ 県下事務局長会議の開催 4月25日(木)
会員管理	・ 入会希望者に地区交通安全協会活動の広報を実施した。 ・ 地区協会入会の受理、会費の受領を実施した。 ・ 会員に関する情報の一元的管理及び会員所属地区協会への会員情報の送付を実施した。
女性部活動等への費用の一部助成	・ 子ども、高齢者、家庭等の交通安全に積極的に取り組んでいる地区交通安全協会女性部活動への助成を実施した。 ・ 子ども、高齢者を対象に実施する自転車教室、高齢者交通安全教育への助成を実施した。
交通安全教育用資器材の無償貸出	・ 当協会が管理している交通安全教育映画(DVD)や、クイックアーム・クイックステップ、クイックキャッチ、自転車シミュレータ等の交通安全資器材の無償貸し出しを実施した。

(2) 交通の安全と円滑の確保に寄与する受託事業及び関連事業

新潟県から運転免許行政及び道路使用許可行政に係る事業を受託して適正、かつ効果的に処理することを通じて交通の安全等に寄与するために以下の各事業を実施した。

ア 更新時講習事業…受託事業

運転者の交通安全意識の向上と交通事故の防止を図り、交通の安全等に寄与するために優良、一般、違反及び初回の各運転者講習を実施した。

事業名	実施の概要
更新時講習事業	○ 優良運転者講習 185,658件 (前年比 +26,309件) ○ 一般運転者講習 37,824件 (前年比 + 630件) ○ 違反運転者講習 14,962件 (前年比 - 1,837件) ○ 初回更新者講習 17,134件 (前年比 - 168件) ○ 特定任意講習 13件 (前年比 + 6件)

イ 運転免許支所事業…受託事業

運転免許窓口業務を適正に処理することを通じて交通の安全に寄与するために以下の事業を実施した。

事業名	実施の概要
運転免許事務補助事業	○ 免許更新者に対する申請手続き及び申請書記載方法の指導、審査、受理等 … 353,429件（前年比 + 47,737件） ○ 再交付申請者に対する申請手続き及び申請書記載方法の指導、審査、受理等 … 239件（前年比 - 6件） ○ 記載事項変更届出者に対する手続き及び申請書記載方法の指導、審査、受理 … 62,015件（前年比 - 784件） ○ 付随事業 更新者に対する視力等の適性検査及び免許証郵送を希望する優良運転更新者9,081人（前年比 + 156人）の免許証代理受理と郵送、申請手数料としての収入証紙を持参しなかった更新者の利便と窓口事務の迅速化等を図るために希望者に収入証紙を販売、県内交通事故の特徴と事故防止等を記した交通事故防止チラシの窓口配布の事業を付随して実施した。

ウ 原付講習…受託事業

各地区交通安全協会とともに原付免許学科試験受験者に対する法定講習を109回（前年比-11回）適正に実施して、1,361人（前年比 +6人）が受講した。

エ 道路使用許可申請に係る現地調査等事業…受託事業

道路使用許可現地調査業務21,407件（前年比 -1,638件）に対して事前調査、中間調査、事後調査の3回の調査を適正に実施した。

オ 新潟県警察手数料収納事務…受託事業（令和6年9月から受託）

新潟県警察が取り扱う各種申請・許可に伴う手数料の収納業務 572,835件

2 収益事業（公益目的事業に資する事業）

新潟県内における交通の安全と円滑を目的に実施される公益事業活動の推進に資するために以下の事業を実施した。

(1) 自動車保管場所証明等に係る事業…受託事業

新潟県からの委託事業として

- ・ 自動車保管場所事務補助業務 146,132件（前年比 + 599件）
 - ・ 自動車保管場所証明に係る現地調査 122,459件（前年比 + 1,260件）
- を適正に実施した。

(2) 施設賃貸等事業

当協会会館の1階事務室一部を公益社団法人団体に、敷地一部を部外者に駐車場(26台分)として賃貸した。

(3) 証明用写真撮影事業等

運転免許センターにおいて申請者、受験者等の利便を図るために

- ・ 運転免許証再交付申請者等の運転免許用写真の撮影
- ・ 運転免許受験者、取消処分者講習等受講者への収入証紙の販売を行った。

3 主要会議の開催

事業名	実施の概要
評議員会の開催	・ 令和5年度計算書類、評議員、理事及び監事の辞任と選任等について審議した。(6月14日ハミングプラザVIP)
理事会の開催	・ 令和5年度事業報告、同計算書類、役員の改選等について審議した。(5月28日ハミングプラザVIP) ・ 令和6年度収支補正予算案、令和7年度事業計画案、同収支予算案等について審議した。(3月3日ハミングプラザVIP)
正副会長・運営委員合同会議の開催	・ 令和5年度事業報告、同計算書類、役員の改選等、理事会、評議員会提出議案等について事前審査した。(5月20日) ・ 令和6年度収支補正予算案、令和7年度事業計画案、同収支予算案等について事前審査した。(2月21日)
表彰委員会	・ 交通栄誉章緑十字金・銀・銅章、関東連名表彰、県連名表彰の各候補者について審議した。(6月21日) ・ 関東連名交通安全功労者表彰、本部長連名優秀運転者表彰、県協会長表彰候補者等について審議した。(2月19日)

4 職員研修会等の開催、参加

事業活動を適正、かつ効果的に推進するために以下の研修会等を開催及び出席した。

事業名	実施の概要
優良・一般運転者講習指導員講習	運転免許センターにおいて、新たに優良・一般講習指導員となる者を対象に教養を実施した。 4月9日 3人、11月20日 3人

違反運転者・初回更新者講習指導員研修	運転免許センターにおいて、新たに違反・初回講習指導員となる者を対象に教養を実施した。 4月9日～11日 2人
県下事務局長会議	警察本部から交通企画課長、運転免許センター長を招聘し、効果的な交通安全活動及び運転免許証の更新手続き等の適正な推進について指導を受けるとともに、今後の協会運営等について協議・検討した。（4月25日ハミングプラザVIP）
自動車保管場所・道路使用許可現地調査員会議	警察本部から交通規制課長等を招聘し、調査業務に関して迅速適正な調査、個人情報漏洩防止、適切な市民応接等について研修を実施した。（4月25日ハミングプラザVIP）
都道府県道路使用適正化業務担当責任者研修会	道路における車両の駐車及び交通の規制並びに道路使用に関する事項について、現地調査員が研修を受けた。 （5月17日 東京都）
全国地域交通安全活動推進委員研修会	交通事故情報と地域交通安全活動推進委員の活動状況について、推進委員1人と安全主任が研修を受けた。 （6月21日 東京都）
一都十県交通安全協会経理担当者会議	総務係長・安全主任が出席し、運転免許のDX化・キャッシュレス化等の検討課題について各都県と意見交換・検討を行った。 （9月9日 静岡県）
自転車安全整備制度推進ブロック会議	常務理事と安全課長が参加し、TS点検の普及促進などについて協議した。 （10月2日 茨城県）
管区内専務理事・事務局長会議・研修会	専務理事と事務局長が参加し、関東交通安全協会の令和7年度事業計画（案）等について審議した。 （10月10日～11日 埼玉県）
女性部研修会	各地区協会女性部長を対象に、女性部活動の活発化を図るために、女性部研修会を開催し、活動事例を発表・討議した。 （10月25日ハミングプラザVIP）
中央大会（分科会）	第63回交通安全国民運動中央大会分科会に専務理事、安全課長及び総務課長が参加した。 （1月14日・東京都）

都道府県交通安全協会 専務理事等会議	都道府県交通安全協会専務理事等会議に専務理事が出席した。 (3月12日 東京都)
新任事務局長に対する 研修会	令和7年度採用予定の事務局長を対象とした新任事務局長 事前研修会を実施した。 (3月25日 安協会館)
新採用現地調査員に対 する研修会	警察本部から交通規制課職員を招聘し、新採用現地調査員 に対する研修会を実施した。 (3月25日 安協会館)

5 その他

県協会ホームページに、新たに「賛助会員の募集」の項目見出しを掲載したうえ、個々の賛助会員を紹介ページに追加するなどにより、新たな賛助会員を募集する活動を推進した。

(裏白)